



ちばさぽ通信

編集・発行：千葉市民活動支援センター
住所：〒260-0013 千葉市中央区中央2-5-1
千葉中央ツインビル2号館9階
電話：043-227-3081 FAX：043-227-3082
Mail：info@chiba-npo.net
Web：http://chiba-npo.net

できる時間に、できる場所で、できる範囲のボランティアを

■広がるボランティアの認知

大規模な自然災害が発生した際、多くの人が被災地にボランティアに駆けつけるといったニュースは、昨今では、当たり前に聞かれるようになりました。行方不明となっていた男児の捜索に参加し、あっという間に発見した男性が「スーパーボランティア」と呼ばれたり、2020年の東京オリンピック・パラリンピック（東京2020大会）の「大会関連ボランティア」への応募者が、軒並み定員の2倍を超えていたなど、ボランティアへの関心や認知が広がっていることを実感します。

■ボランティアが“選考”される？

さてこの「大会関連ボランティア」は、東京2020大会の組織委員会や自治体が募集をしていましたが、既に受付締切りとなっています。そして定員を超えたところでは、応募書類や面接等による“選考”が行われ、その結果は“採用通知”で知らされるそうです。「大会関連ボランティア」は、競技会場や選手村などセキュリティが必要な施設での活動も含まれるので、無制限に誰でも受け入れるわけにはいきませんが、思いをもって応募したのに選考から漏れてしまう人が出るのは、とても残念なことだと思います。

「まちボラ」が続々と育っています

■226名が受講

一昨年スタートした「まちなかボランティア養成講座」は、講義1回と実習2回で修了する講座です。入口となる「講義」は回を重ねて通算8回、合計226名が受講しました。ボランティアの基礎知識から、千葉市の観光や歴史と今、来街者とのコミュニケーション、障害者への理解など8コマからなる密度の高い講習で、講師も多彩です。

講師の千葉市観光プロモーション課の小亀さおりさんは、国際線客室乗務員の経験から「おもてなし」のポイントや、国による文化の違いを考えての接し方について、また観光から見た千葉の街など、新しい視点を開いてくれます。千葉市身体障害者連合会会长の高山功一さんは片手でグローブを巧みに使うキャッチボールなどパフォーマンスも交えての講義。障害をひとりくくりに考えてはいけない、相手に合わせた「求められるだけの支援」こそ大事ということがよくわかります。



■楽しみながら実習参加

まちボラの講座は、2回の実習が必修となっています。

■気軽にできるボランティアを広めたい！

一方、東京2020大会に向けた千葉市の「行動計画」には、他にも「大会を支える様々なボランティア」が必要だという旨が記されています。活動内容は、環境美化やいわゆる“おもてなし”などが想定されており、こちらは募集が行われるものではないようです。当センターとしても、このような選考されることのない、やりたいと思った人が気軽にできるボランティアもあることを広く知ってもらい、その支援を行っていきたいと考えています。

■一步踏み出すきっかけづくりの講座を開催

とは言え、気軽にできると言っても、外国人や障害のある方に対して、どうやって“おもてなし”をしたらよいかわからない、声をかける勇気がないという方も多いのではないかでしょうか。そんな方に、ご自分ができそうなことを見つけ、一步踏み出すきっかけとしてもらうことを目的とした「まちなかボランティア養成講座」を、当センターでは2017年度より、継続して開催しています。残念ながら「大会関連ボランティア」に採用されなかった方も、活動のきっかけづくりになると思いますので、どうぞご参加をお待ちしています。詳しいご案内は、以下をご覧ください。

まちなかで開催される様々なイベントに実際に出向いて、困っている人に手を貸す実習です。この日は外国人から「スミマセン」と声を掛けられ、視覚障害者や聴覚障害者から質問されたりします。一度でも外国人や障害のある人と話をしてみる、ささやかな経験ですが、この「慣れ」がボランティアのハードルを低くするのです。



「ドキドキしたが、ちゃんとした英語でなくても通じた」「視覚障害者には方向を時計の文字盤の位置で伝えるといい」など実感あふれる感想が寄せられています。これまでに51名が2回の実習を含む全過程を修了しました。

■オリパラを終点にしない

「誰もが取り組めるボランティア」のきっかけを創りだすことが、この講座の目的です。2020のオリンピック・パラリンピックは大きな節目ではありますが、この講座はオリパラが目的ではありません。

「May I help you？」の声掛けが「珍しくない普通のこと」になる社会が、この講座の最終目標です。困っているなら手を貸したい、という気持ちをスムーズに行動につなげる、その一歩をこの講座から踏み出してみませんか。

今後の開講予定

2019年5月25日(土)
7月20日(土)
11月30日(土)
2020年2月15日(土)

※時間帯は午後、会場未定